

NPO法人成田空港ボランティア・スカイレッツ  
第8回講演会



『過去のパラリンピックボランティアから学ぶこと』



講師：星野恭子氏(スポーツライター)

- ・日本スポーツボランティアネットワーク特別講師
- ・初級障害者スポーツ指導員
- ・東京富士大学非常勤講師

・著書：『伴走者たち～ 障がいのあるランナーをささえる』  
『一緒に走ろっ！』など多数

・公式サイト：スポーツあれこれ  
<http://hosinokyoko.com>

”視覚障がいのある人をガイドしながら走る(伴走)ボランティアとの出会いをきっかけに、2006年頃から「障がいのあるアスリートや周りで支える人たち」を追いかけるようになりました。

パラスポーツ(障がい者のスポーツ)を取り巻く環境は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を機に、以前と比べ驚くほどの規模と速さで変動しています。この追い風によってパラスポーツが日常のなかにしっかり根づくように、その魅力や醍醐味を幅広く伝えていきたいと思っています。”

講演テーマ

2008年北京、2010年バンクーバー、2012年ロンドン、2014年ソチ、そして、2016年リオデジャネイロと5回のパラリンピックの取材を通して各国のボランティアの違いや、本当に必要だと思われたポイントをお話しいたします。また国内のパラスポーツに関しても現状をお話しいたします。

今回は講演だけでなく質疑応答の時間を多めにとり、パラスポーツに対して私たちがどのようにしたらよいのかなど普段疑問に思っていることを遠慮なく伺ってみましょう。



平成30年3月4日(日)  
千葉中央ツインビル2号館9F



時間：13時30分～15時00分(受付：13時10分～)

定員：40人

申込方法：講演会担当及川登代子へメールもしくは電話

mail：toyoko.oikawa@skylets.or.jp

電話：090-3049-4193

★ご家族・ご友人でもパラリンピックや障がい者スポーツのボランティアに興味のあるかたがいらっしゃいましたら、お声かけ下さい。